

単元名	走・跳の運動遊び(走の運動遊び)障害物リレー遊び	配当時間	6時間
単元の目標	(1) 距離や方向などを決めて走ったり、手でのタッチやバトンの受渡しをする折り返しリレー遊びをしたり、段ボールや輪などの低い障害物を用いてのリレー遊びをしたりすることができる。 (2) 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりしようとする。		

## 標準的な展開例

02100201\_001

【準備等】 コースに置く障害物（棒、輪、段ボールの箱、ミニハードルなど）、対戦表、バトン（低学年用のバトンや輪投げ用の輪などを利用する）、カラーコーンなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 障害物リレー遊びの学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方についての見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや進め方を知る。</li> <li>★跳び越す物を選んで競走して楽しもう。</li> <li>○マナーや安全な運動の仕方について知る。</li> <li>○チームを編成する。</li> </ul> <p>○いろいろな場でかけっこを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな動作で走る。 普通に走る、スキップで走る、大股で走る、小股で走る 後ろ向きに走るなど</li> <li>・友達と組になって走る。</li> <li>手をつないで走る、追い抜き走りをするなど</li> <li>・鬼遊びをする。</li> <li>・障害物を越えて走る。 棒、輪、段ボールの箱、 段ボールの箱を斜め半分に切ったもの、ミニハードルなど</li> </ul> <p>3～4 チーム内で競走して楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな場でかけっこを楽しむ。</li> <li>○障害物を置いたコースで試走する。</li> <li>○1人対1人で競走して楽しむ。</li> <li>○チーム内で2チームに分かれ、障害物リレー遊びをして楽しむ。</li> <li>○反省し、まとめをする。 ・がんばったこと、問題点など</li> </ul> <p>5～6 チーム対抗障害物リレー遊びをして楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな場でかけっこを楽しむ。</li> <li>○コースについて話し合う。</li> <li>○チームで課題や作戦を立て、障害物リレーの練習をする</li> <li>○チーム対抗障害物リレーをする。</li> <li>○反省し、まとめをする。 ・課題、作戦、問題点など</li> <li>○第6時は単元のまとめもする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棒や輪、段ボールの箱などを速く跳び越えてリレーすることを知らせ、意欲を高める。</li> <li>・力が均等な偶数チーム（1チーム5～6人程度）に分ける。</li> <li>・単に運動場に線を引き、距離を決めて走るのではなく、教師とともに走り方を変えながら運動場を走ったり、指示された走り方で運動場にある固定施設にタッチしてもどってきたりするなど楽しく行わせる。</li> <li>・余裕があれば、図工の時間等を利用して、跳び越したい物を作ったり、段ボールの箱に絵を描いたりして障害物を事前に準備しておく、さらに意欲が高められる。</li> <li>・第1時～第2時で行ったかけっこなどを取り入れ、体ほぐしの運動遊びを行う。</li> <li>・同じ障害物のコースを隣り合わせて2コース作る。</li> <li>・チーム内で対戦相手を変えながら、いろいろなコースに挑戦させる。</li> <li>・チーム内の組分けも変えながらいろいろなコースに挑戦させる。</li> <li>【評】 障害物リレー遊びを通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・第4時までに行ってきた障害物の中から障害物の種類と数を選ばせる。</li> <li>・活動中に困ったことが起きたら、自分達で話し合って、解決していくよう助言する。</li> <li>【評】 作戦を工夫して障害物リレーを行う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</li> <li>【評】 きまりを守り仲よくチーム対抗障害物リレーを行う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・チームで作戦や協力の仕方などについて話し合わせる。</li> </ul>

## 【 備 考 】

障害物リレー遊びで要求される走りながらの片足踏み切りからの片足着地は、いろいろな運動の基礎となる動きであり、他の運動を楽しむためにも重要な動きである。しかし、低学年の児童は走りながら障害物を越えるとき、障害物の前に来ると立ち止まったり、スピードを緩めたりしがちである。そこで、本単元では、棒や輪、段ボールの箱などの障害物を用いて、リレーを行いながら楽しく跳び越す活動を取り入れた。1対1の競走から始まり、2～3人組、チームでの競争へと発展させる。そして、競走の場を選んだり、走る順番を工夫させたりする活動につなげる。

<運動遊びが苦手な児童への配慮の例>

- ・一定のリズム、速いリズムなど、いろいろなリズムで走ったり、レーン上に目印を置いて、分かりやすいレーンを設定したりする。
- ・障害物を置く間隔や高さを変える。